

◎ 目 次 ◎

(1) 歯ッピーにいがた21	
歯科保健目標	1
(2) 新潟市の歯科保健の現状	
1) 目標値の推移	
1. 乳幼児期の健康目標	4
2. 園児・学齢期の健康目標	5
2) 新潟市の歯科疾患の状況	
1. 乳歯のむし歯の状況	6
2. 児童・生徒の永久歯のむし歯の状況	8
3. 児童・生徒の歯肉炎の状況	9
4. 児童・生徒の不正咬合の状況	9
5. 成人の歯科疾患の状況	10
6. 障がい者要介護者歯科保健事業受診状況	11
(3) 統計資料編	
1) 用語の説明	12
2) 新潟市の状況（平成23年度）	
1. 乳歯の現状	12
2. 児童・生徒の永久歯の現状	16
3. 児童・生徒の歯肉炎及び不正咬合の現状	16
4. 園・学校での歯科保健活動の現状	17
5. 成人歯科保健の現状	18
6. 障がい者要介護者歯科保健事業受診状況	20
3) 国及び県の歯科疾患状況	
1. 平成23年厚生労働省歯科疾患実態調査	21
2. 平成23年度文部科学省学校保健統計調査	21
3. 平成22年度厚生労働省医政局歯科保健課調査	22
4. 平成23年度新潟県小児むし歯有病状況	23

1

歯ッピーにいがた21 歯科保健目標

新潟市では、新潟市生涯歯科保健計画に基づき生涯にわたり一貫した歯科保健対策を推進します。

1) 理念と基本目標

【理念】

市民一人ひとりが、生涯、歯と口の健康を確保し、豊かな生活を実現する



【基本目標】

- 生涯、自分の歯でおいしく食べられる
- 生涯、噛んで飲み込むことができる
- 生涯、楽しい食事、楽しい会話ができる



【歯科目標】

- 健康な歯をもつ
- 健康な歯ぐきをもつ
- 食べて飲み込む機能を保持する
- 全ての市民が適切な歯科保健サービスを受けられる

2) ライフステージ毎の行動目標および評価指標

1. 乳幼児期

健康な歯～乳歯のむし歯予防について

行動目標	評価指標	H23年度結果	H25年度目標
○甘味食品・飲料を上手にとりましょう ○正しい方法で歯磨きをしましょう ○フッ素入り歯磨剤やフッ素塗布を利用しましょう	◇1日3回以上間食する1歳6か月児の割合	23%	全市15%以下
	◇3歳児歯科健診時のフッ素塗布受診率	69%	全市75%以上
	◇むし歯を持っている3歳児の割合（有病者率）	18%	全市15%以下
	◇むし歯を3本以上持つ3歳児の割合（重症むし歯者）	10%	全市8.5%以下

2. 園児・学齢期

健康な歯～永久歯のむし歯予防について

行動目標	評価指標	H23年度結果	H25年度目標
○フッ素入り歯磨剤、フッ素洗口、フッ素塗布を利用しましょう	◇フッ素洗口を実施している保育園数	146園	170園以上
	◇フッ素洗口を実施している学校（園）	47校（園）	73校（園）以上
	◇フッ素入り歯磨剤の使用率	5-14歳 84%	全市90%以上
	◇むし歯を持っている6歳児の割合	2.0%	全市1.5%以下
	◇12歳児の一人むし歯本数	0.9本	全市0.8本以下

健康な歯ぐき～歯肉炎予防について

行動目標	評価指標	H23年度結果	H25年度目標
○糸つきようじ（デンタルフロス）を使う習慣を身につけましょう（小学校高学年以降）	◇個別的な歯口清掃指導を受ける者の割合	歯磨き：71.4% 歯間部清掃用具：38%	向上
	◇糸つきようじ（デンタルフロス）を使用している12歳児の割合	調査準備中	向上
	◇歯肉炎の所見が認められる12歳児の割合	21%	全市20%以下

3. 成人期

健康な歯ぐき ～ 歯周炎予防について

行動目標	評価指標	H23年度結果	H25年度目標
○糸つきようじ（デンタルフロス）や歯間ブラシを使いましょう	◇歯間部清掃用器具を使用する者の割合 40歳（35-44歳） 50歳（45-54歳）	55% 51%	全市65%以上 全市60%以上
	◇歯科健診を目的として受診する者の割合 40歳代 50歳代	26% 24%	全市30%以上 全市30%以上
○かかりつけ歯科医で定期的な歯科健診や歯石除去を受けましょう	◇過去1年間において、定期的な歯石除去や歯面清掃を受けた者の割合 60歳（55～64歳）	43%	全市50%以上
	◇成人歯科健診の受診率	5%	全市10%以上
○喫煙の歯周病への悪影響を知り、禁煙にチャレンジしましょう	◇喫煙が歯周病に悪影響を与えることを知っている者の割合	43%	全市60%以上
	◇歯周炎が全身へ悪影響を及ぼす可能性があることを知っている者の割合	55-64歳36% 75-84歳59%	全市40%以上 全市60%以上
○歯周病と全身の関係について知りましょう	◇進行した歯周炎をもっている者の割合 40歳（35-44歳） 50歳（45-54歳）	48% 54%	全市40%以上 全市50%以下
	○フッ素入り歯磨剤を利用しましょう	◇歯や口の状態に満足している者の割合 40歳 50歳	30% 28%
◇フッ素入り歯磨剤の使用率		79%	全市90%以上

* 市民保健医療福祉意識調査結果

4. 高齢期

食べて飲み込む機能～口腔ケア、摂食嚥下対策について

行動目標	評価指標	H23年度結果	H25年度目標
○自分の歯を一本でも多く持つように、心がけましょう ○食べ物を噛む力、飲み込む力を維持しましょう ○いろいろな食品が食べられるように心がけましょう	◇60歳（55～64歳）で24本以上の自分の歯を有する者の割合	65%	向上
	80歳（75～84歳）で20本以上の自分の歯を有する者の割合	43%	向上
	◇歯間部清掃用器具を使用する者	65歳以上 45%	向上
	◇歯や口の状態に満足している者の割合 60歳（代） 70歳（代）	30% (参考)70歳以上 30%	全市40%以上 全市35%以上
	◇むせずに食事をしている者の割合の増加	55-64歳 83% 75-84歳 84%	向上 向上

5. 障がい者・要介護者

食べて飲み込む機能～口腔ケア、摂食嚥下対策について

行動目標	評価指標	H23年度結果	H25年度目標
○身体の状態、機能にあった食事をしましょう ○身体の状態、機能にあった口腔ケアをしましょう ○むし歯などの歯科診療を受けましょう	◇障がい者：口腔ケア指導、歯科健診、診療受診者数	(参考)口腔保健福祉センター特別診療788名	向上
	◇要介護者：楽しくおいしく食事をしている者の割合	—	向上
	◇要介護者：むせずに食事をしている者の割合	—	向上
	◇訪問歯科健診・診療事業受診者、訪問口腔衛生指導受診者数	185名	向上

2 新潟市の歯科保健の現状

1) 目標値の推移

1. 乳幼児期の健康目標

乳幼児期の健康目標として、乳歯むし歯の予防を掲げています。具体的には、1歳6か月児および3歳児においてむし歯を持つ者の割合（有病者率）の減少をめざしています。

平成23年度の1歳6か月児、3歳児のむし歯有病者率は減少傾向にあります。

○ 1歳6か月児でむし歯を持つ者の割合

表1 1歳6か月児むし歯有病者率の推移

年度（西暦）	有病者率（%）
平成5年度（1993）	8.0
平成6年度（1994）	6.2
平成7年度（1995）	4.9
平成8年度（1996）	4.3
平成9年度（1997）	3.4
平成10年度（1998）	2.9
平成11年度（1999）	2.3
平成12年度（2000）	2.3
平成13年度（2001）	3.1
平成14年度（2002）	2.3
平成15年度（2003）	2.2
平成16年度（2004）	1.9
平成17年度（2005）	2.1
平成18年度（2006）	2.1
平成19年度（2007）	1.9
平成20年度（2008）	1.7
平成21年度（2009）	2.2
平成22年度（2010）	1.7
平成23年度（2011）	1.8

(平成13年1月～黒埼地区含む)
(平成17年4月～合併12市町村含む)
(平成17年10月～巻地区含む)

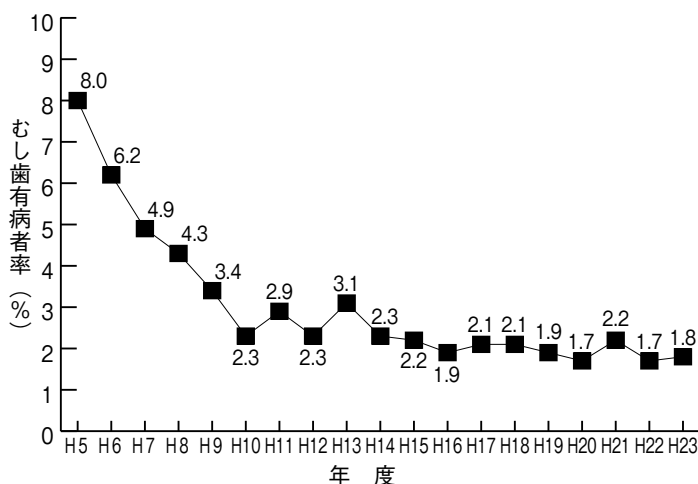


図1 1歳6か月児むし歯有病者率の推移

○ 3歳児でむし歯を持つ者の割合

表2 3歳児むし歯有病者率の推移

年度（西暦）	有病者率（%）
平成5年度（1993）	56.0
平成6年度（1994）	54.3
平成7年度（1995）	49.3
平成8年度（1996）	42.4
平成9年度（1997）	38.2
平成10年度（1998）	35.5
平成11年度（1999）	34.7
平成12年度（2000）	30.0
平成13年度（2001）	29.7
平成14年度（2002）	28.2
平成15年度（2003）	25.0
平成16年度（2004）	23.5
平成17年度（2005）	23.7
平成18年度（2006）	23.9
平成19年度（2007）	22.1
平成20年度（2008）	22.1
平成21年度（2009）	18.8
平成22年度（2010）	17.6
平成23年度（2011）	15.8

(平成13年1月～黒埼地区含む)
(平成17年3月～小須戸地区含む)
(平成17年4月～合併12市町村含む)
(平成17年10月～巻地区含む)

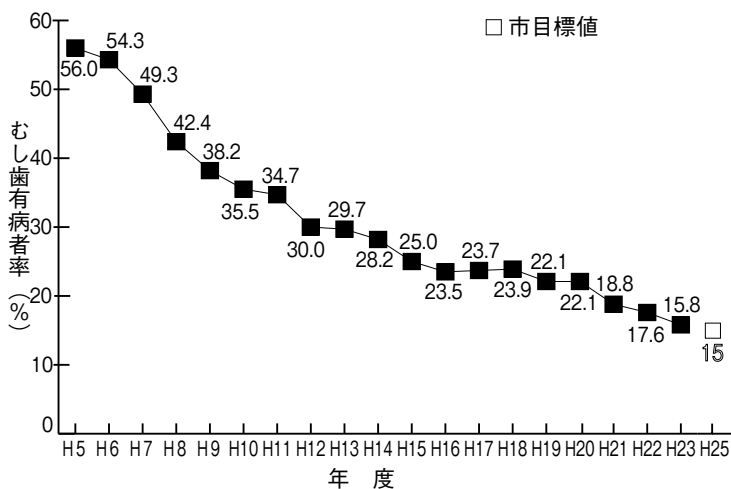


図2 3歳児むし歯有病者率の推移

2. 園児・学齢期の健康目標

園児・学齢期の健康目標として、永久歯むし歯の予防を掲げています。具体的には小学校1年生でむし歯を持つ者の割合（有病者率）の減少と、世界保健機関（WHO）の指標でもある中学校1年生における平均のむし歯の本数の減少をめざしています。

平成23年度の結果は、前年度と比較すると小学校1年生の有病者率はほぼ横ばいの状況で、中学校1年生の平均むし歯本数は減少しています。

○小学校1年生でむし歯を持つ者の割合

表3 6歳児むし歯有病者率の推移

年度（西暦）	有病者率（%）
平成5年度（1993）	14.1
平成6年度（1994）	13.3
平成7年度（1995）	14.3
平成8年度（1996）	11.2
平成9年度（1997）	8.6
平成10年度（1998）	7.0
平成11年度（1999）	5.9
平成12年度（2000）	4.7
平成13年度（2001）	5.0
平成14年度（2002）	4.7
平成15年度（2003）	3.3
平成16年度（2004）	3.4
平成17年度（2005）	3.6
平成18年度（2006）	2.7
平成19年度（2007）	2.9
平成20年度（2008）	2.6
平成21年度（2009）	2.0
平成22年度（2010）	2.0
平成23年度（2011）	2.2

（平成13年1月～黒埼地区含む）

（平成17年4月～合併12市町村含む、巻地区含まず）

（平成18年度～巻地区含む）

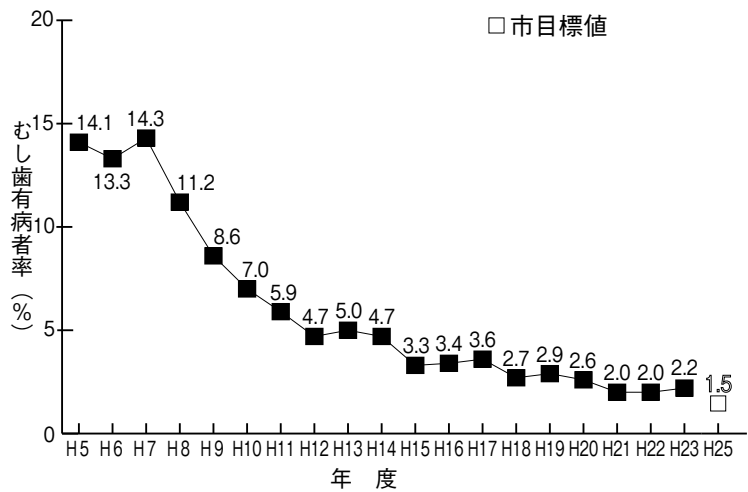


図3 6歳児むし歯有病者率の推移

○中学校1年生の平均むし歯本数

表4 12歳児一人平均むし歯本数の推移

年度（西暦）	平均むし歯数（本）
平成5年度（1993）	3.49
平成6年度（1994）	3.37
平成7年度（1995）	3.20
平成8年度（1996）	2.76
平成9年度（1997）	2.55
平成10年度（1998）	2.49
平成11年度（1999）	2.18
平成12年度（2000）	1.93
平成13年度（2001）	1.72
平成14年度（2002）	1.51
平成15年度（2003）	1.32
平成16年度（2004）	1.15
平成17年度（2005）	1.18
平成18年度（2006）	1.09
平成19年度（2007）	0.98
平成20年度（2008）	1.03
平成21年度（2009）	0.94
平成22年度（2010）	0.89
平成23年度（2011）	0.80

（平成13年1月～黒埼地区含む）

（平成17年4月～合併12市町村含む、巻地区含まず）

（平成18年度～巻地区含む）

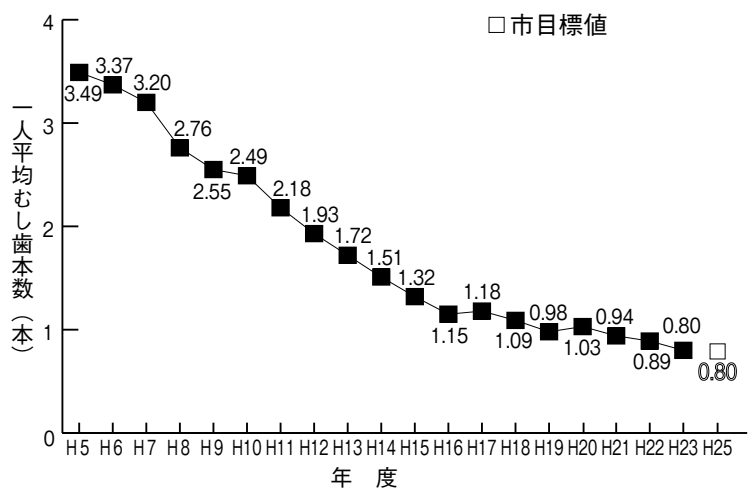


図4 12歳児一人平均むし歯本数の推移

2) 新潟市の歯科疾患の状況

1. 乳歯のむし歯の状況

(1) むし歯有病者率の状況

乳歯が生えて間もない1歳児でも、むし歯を持つ子どもがおり、1歳6か月児の時点で、1.8%の子どもがむし歯を持っています。さらに、年齢が進むにつれて、むし歯が増え、5歳児になると4割近くの子どものむし歯があります。

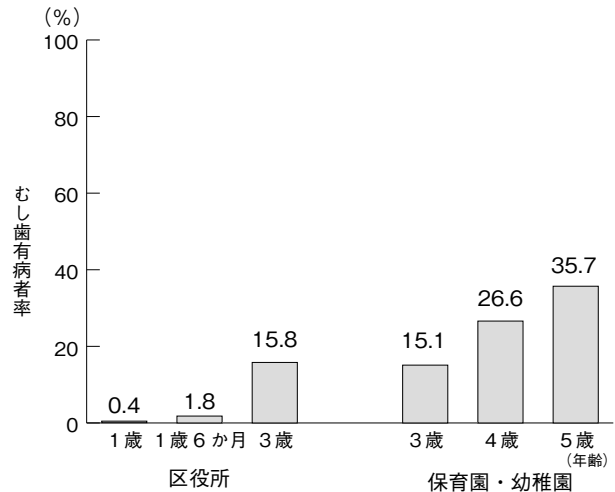


表5 乳歯むし歯有病者率 (平成23年度)

区役所			保育園・幼稚園		
1歳児	1歳6か月児	3歳児	3歳児	4歳児	5歳児
0.4	1.8	15.8	15.1	26.6	35.7

図5 乳歯むし歯有病者率 (平成23年度)

(2) 地区別有病状況

3歳児のむし歯有病状況を地域保健福祉センター別にみると、平成23年度有病者率は、9.6%から22.0%であり、地域格差がみられます。

表6 地区別むし歯有病者率の推移 (平成22・23年度 3歳児歯科健診)

地区	平成22年度 (%)	平成23年度 (%)
豊栄	23.5	17.5
北	21.0	14.0
中	17.4	15.8
石山	18.6	10.0
中央	11.3	12.1
東	10.9	15.1
南	14.0	14.6
曾野木	18.0	14.0
横越	27.3	13.9
亀田	16.7	14.3
新津	18.2	17.5
小須戸	21.7	19.6
白根	20.7	22.0
坂井輪	16.6	17.6
黒埼	15.3	12.6
西	15.0	14.1
潟東	32.5	9.6
巻	21.1	17.8

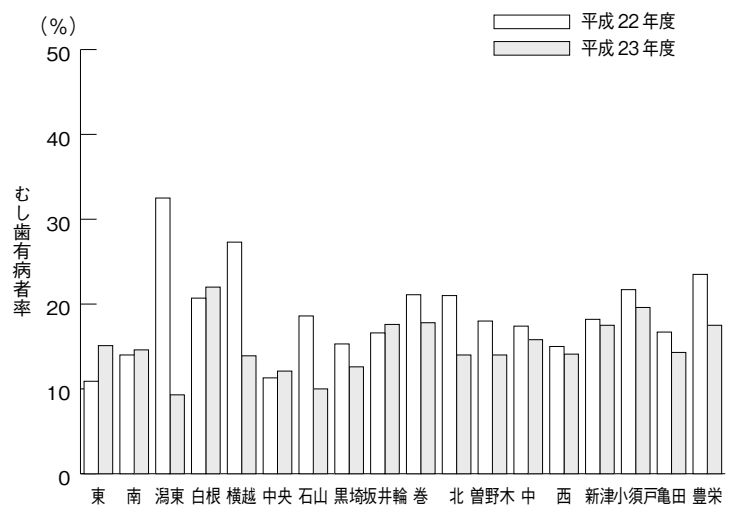


図6 地区別むし歯有病者率の推移 (平成22・23年度 3歳児歯科健診)

※平成19年度より、月潟・味方地区は白根地区に、岩室・西川地区は巻地区に、中之口地区は潟東地区に含む

(3) 保育園児・幼稚園児のむし歯有病状況

平成23年度の保育園児・幼稚園児のむし歯有病者率は、各年齢とも減少傾向にあります。

表7 保育園・幼稚園児のむし歯有病者率の推移

年 度	3歳児(%)	4歳児(%)	5歳児(%)
平成5年度	50.4	66.6	77.0
平成6年度	48.0	61.6	75.1
平成7年度	44.6	62.4	72.3
平成8年度	42.8	57.5	69.5
平成9年度	36.9	56.8	68.2
平成10年度	34.3	49.6	63.9
平成11年度	33.5	49.7	61.0
平成12年度	29.6	45.4	55.2
平成13年度	26.4	42.3	55.3
平成14年度	27.0	39.3	52.2
平成15年度	24.3	38.1	48.6
平成16年度	21.1	35.9	48.4
平成17年度	25.4	38.5	48.7
平成18年度	23.9	37.7	49.6
平成19年度	21.8	34.7	45.2
平成20年度	21.3	30.9	41.7
平成21年度	18.1	30.7	38.6
平成22年度	17.4	28.4	37.3
平成23年度	15.1	26.6	35.7

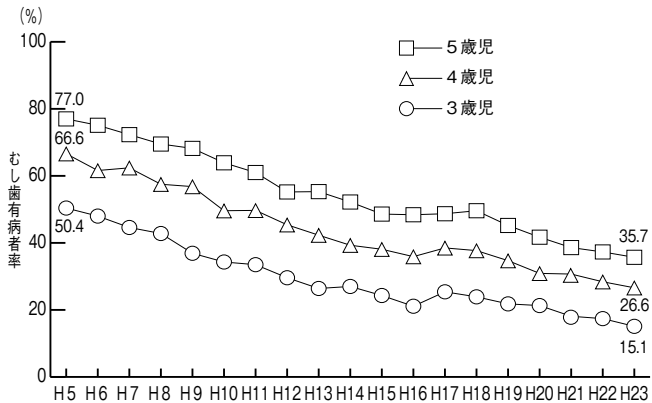


図7 保育園・幼稚園児のむし歯有病者率の推移

(4) フッ素塗布の受診状況

平成11年度は3歳児歯科健診に併設したことにより前年度に比べ増加しています。平成13年度まで受診者数は増加していますが、平成14年度から減少傾向が続いています。平成17年度は、市町村合併により、増加しています。また、平成17年度より委託医療機関の個別実施が併設となりました。

表8 フッ素塗布の受診者数の推移

年 度	受診者数 (人)	～				
		1歳5か月	1歳6か月～ 1歳11か月	2歳～ 2歳11か月	3歳～ 3歳11か月	4歳～4歳5か月 (横越地域のみ)
平成5年度	7,586	—	2,527	3,154	1,905	—
平成6年度	10,880	2,974	2,524	3,296	2,086	—
平成7年度	13,635	2,996	4,596	3,615	2,428	—
平成8年度	14,652	3,138	4,327	4,317	2,870	—
平成9年度	15,164	3,425	4,275	4,253	3,211	—
平成10年度	15,641	3,427	4,397	4,634	3,183	—
平成11年度	18,909	3,799	4,575	4,932	5,603	—
平成12年度	19,193	3,903	4,706	4,920	5,664	—
平成13年度	20,081	4,313	4,981	4,974	5,813	—
平成14年度	19,408	4,032	4,909	4,845	5,622	—
平成15年度	18,645	3,882	4,819	4,568	5,376	—
平成16年度	17,972	4,021	4,746	4,062	5,143	—
平成17年度	23,391	5,604	6,437	4,929	6,400	21
平成18年度	24,673	5,828	6,657	5,144	7,044	—
平成19年度	23,345	5,702	6,584	4,445	6,614	—
平成20年度	22,553	5,596	6,469	4,088	6,400	—
平成21年度	22,511	5,778	6,336	4,009	6,388	—
平成22年度	22,510	6,062	6,706	5,022	7,576	—
平成23年度	27,544	6,337	6,931	5,545	7,765	—

※平成17年度受診者数に、新津地域個別実施分は経過措置対応のため含まず（平成18年度より新津地域分も含む）

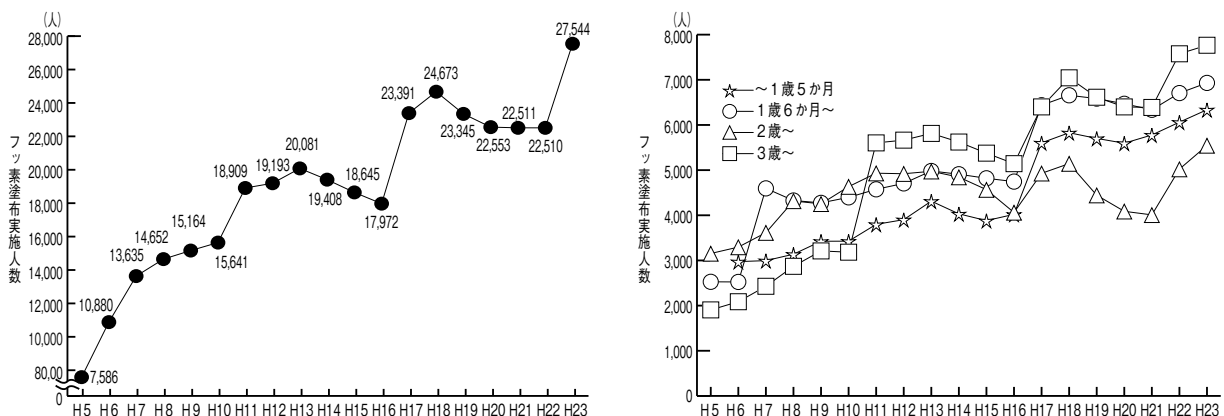


図8 フッ素塗布受診者数の推移

2. 児童・生徒の永久歯のむし歯の状況

(1) 永久歯むし歯有病者率の状況

乳歯から永久歯に生えかわる時期である小・中学生の永久歯のむし歯の状況をみると、小学校1年生の時点ですでに2.2%の児童にむし歯があります。経年的に永久歯むし歯有病者率は減少していますが、学年が進むにつれてむし歯は増え、小学校6年生では2割近く、中学校3年生では4割近くの生徒にむし歯があります。

表9 児童生徒の永久歯むし歯有病者率の推移

(%)

年 度	小 学 校							中 学 校			
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全学年	1年生	2年生	3年生	全学年
平成6年度	13.3	31.1	50.3	60.8	69.0	76.9	51.1	82.9	85.0	86.9	85.0
平成7年度	14.3	28.7	46.4	60.8	67.0	72.5	49.2	81.2	85.2	86.9	84.5
平成8年度	11.2	29.8	42.3	53.6	63.7	70.5	46.1	75.5	80.5	85.8	80.4
平成9年度	8.6	23.2	38.5	49.9	58.7	67.4	42.0	71.7	75.7	81.1	76.2
平成10年度	7.0	17.0	32.1	42.1	53.2	63.1	36.6	71.7	74.9	77.5	74.7
平成11年度	5.9	15.7	26.5	39.6	50.7	57.2	33.3	67.8	74.7	77.7	73.5
平成12年度	4.7	14.7	23.1	35.2	44.5	53.0	29.6	62.4	71.1	77.8	70.6
平成13年度	5.0	12.5	22.0	30.7	37.4	47.6	25.9	57.7	65.4	72.6	65.3
平成14年度	4.7	10.4	17.9	26.9	33.6	41.0	22.5	52.7	60.9	68.1	60.6
平成15年度	3.3	10.1	18.1	23.7	32.3	36.6	20.7	49.1	55.1	63.5	56.1
平成16年度	3.4	9.1	15.4	23.7	30.3	36.4	19.7	45.7	56.0	62.9	54.9
平成17年度	3.6	9.5	15.9	22.4	30.4	34.9	19.6	43.4	48.2	57.3	49.6
平成18年度	2.7	8.2	14.7	21.0	26.9	33.3	18.0	40.8	47.5	53.0	47.1
平成19年度	2.9	7.1	13.7	19.8	24.9	31.4	16.7	41.0	46.6	51.9	46.4
平成20年度	2.6	7.8	12.6	19.9	25.9	29.4	16.6	38.6	44.3	48.2	43.8
平成21年度	2.0	5.6	10.7	17.0	22.0	27.7	14.4	36.9	41.7	46.5	41.7
平成22年度	2.0	6.0	9.3	15.8	20.1	27.3	7.9	35.8	43.0	48.0	42.2
平成23年度	2.2	4.9	9.1	13.1	19.0	23.7	12.2	33.6	38.0	38.0	36.6

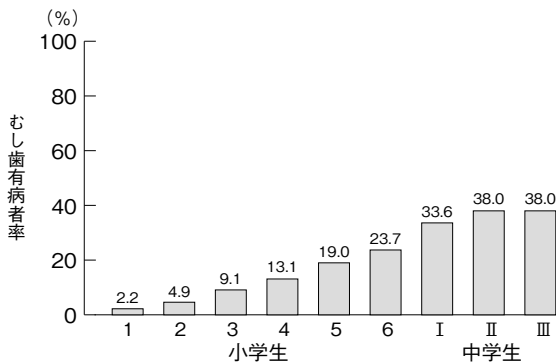


図9 永久歯むし歯有病者率 (平成23年度)

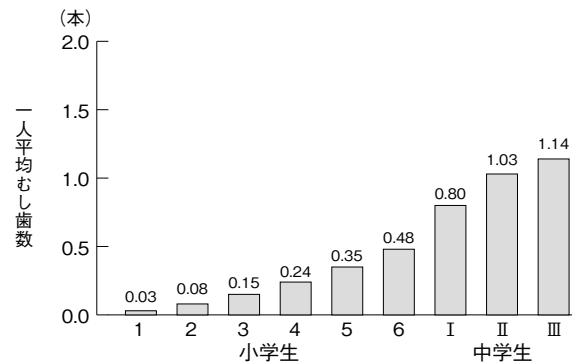


図10 永久歯一人平均むし歯数 (平成23年度)

(2) 永久歯一人平均むし歯数の状況

表10 児童生徒の永久歯一人平均むし歯数の推移

(本)

年 度	小 学 校							中 学 校			
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全学年	1年生	2年生	3年生	全学年
平成6年度	0.23	0.62	1.16	1.58	2.03	2.69	1.42	3.37	4.03	4.80	4.10
平成7年度	0.25	0.58	1.05	1.60	1.93	2.37	1.33	3.20	3.93	4.55	3.90
平成8年度	0.18	0.60	0.93	1.33	1.77	2.25	1.21	2.76	3.41	4.27	3.47
平成9年度	0.15	0.45	0.83	1.22	1.57	2.09	1.08	2.55	3.14	3.96	3.22
平成10年度	0.11	0.30	0.66	0.98	1.35	1.76	0.89	2.49	2.92	3.40	2.95
平成11年度	0.09	0.27	0.51	0.86	1.27	1.58	0.78	2.18	2.28	3.42	2.83
平成12年度	0.08	0.26	0.44	0.77	1.06	1.49	0.69	1.93	2.61	3.45	2.68
平成13年度	0.07	0.21	0.44	0.66	0.90	1.25	0.59	1.72	2.30	2.98	2.34
平成14年度	0.07	0.17	0.31	0.56	0.73	1.04	0.48	1.51	2.07	2.51	2.04
平成15年度	0.05	0.17	0.33	0.47	0.71	0.87	0.44	1.32	1.77	2.36	1.83
平成16年度	0.05	0.15	0.28	0.45	0.65	0.89	0.41	1.15	1.69	2.07	1.64
平成17年度	0.05	0.15	0.28	0.44	0.61	0.81	0.39	1.18	1.52	2.07	1.59
平成18年度	0.04	0.13	0.25	0.39	0.56	0.76	0.36	1.09	1.47	1.82	1.46
平成19年度	0.04	0.11	0.23	0.35	0.48	0.69	0.32	0.98	1.29	1.68	1.31
平成20年度	0.04	0.14	0.21	0.36	0.53	0.61	0.32	1.03	1.30	1.57	1.30
平成21年度	0.03	0.08	0.18	0.31	0.42	0.59	0.27	0.94	1.22	1.50	1.22
平成22年度	0.03	0.09	0.14	0.26	0.38	0.55	0.25	0.89	1.21	1.54	1.21
平成23年度	0.03	0.08	0.15	0.24	0.35	0.48	0.23	0.80	1.03	1.14	0.99

3. 児童・生徒の歯肉炎の状況

小学校の高学年から歯肉炎が増えはじめています。現在の学校歯科健診での歯肉炎の判定は、精密検査や治療及び指導が特に必要なもので、比較的重症なものが歯肉炎と判定されています。

表11 児童生徒の歯肉炎の有病者率の推移 (%)

年 度	小 学 校							中 学 校			
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全学年	1年生	2年生	3年生	全学年
平成5年度	0.3	0.7	1.2	1.7	2.3	2.9	1.5	4.2	5.3	4.4	4.7
平成6年度	0.4	0.6	1.9	2.5	2.5	2.8	1.8	4.4	5.5	4.5	4.8
平成7年度	0.4	1.1	1.2	2.1	2.7	2.3	1.7	4.9	4.8	5.9	5.2
平成8年度	0.1	1.4	1.6	1.8	3.3	2.9	1.9	3.8	4.3	5.3	4.5
平成9年度	1.4	2.6	4.2	5.5	5.2	5.9	4.2	8.7	10.5	10.7	10.2
平成10年度	1.0	2.7	3.4	5.0	4.1	5.0	3.6	9.0	10.2	12.2	10.5
平成11年度	1.7	3.1	3.7	5.5	5.3	6.8	4.4	8.8	12.4	13.4	11.6
平成12年度	1.5	3.7	3.6	4.9	5.5	6.2	4.3	8.5	11.2	11.6	10.5
平成13年度	1.7	2.8	5.2	4.7	5.8	6.6	4.5	9.4	12.3	13.7	11.8
平成14年度	1.5	3.2	3.3	4.5	5.7	4.3	3.8	9.9	12.6	14.8	12.5
平成15年度	1.6	3.4	5.5	4.3	4.8	6.2	4.3	11.6	11.9	14.3	12.6
平成16年度	1.2	3.9	3.1	4.9	5.2	5.0	3.9	7.7	9.7	9.7	9.0
平成17年度	1.4	2.8	3.3	5.0	5.4	5.9	4.0	8.2	10.7	10.6	9.9
平成18年度	1.4	2.6	3.8	5.1	5.8	6.1	4.1	7.7	9.4	10.1	9.1
平成19年度	2.2	3.9	4.5	5.0	5.8	6.6	4.7	8.8	11.7	11.7	10.7
平成20年度	0.7	1.6	2.4	3.0	3.0	3.7	2.4	3.3	4.8	4.9	4.4
平成21年度	0.3	1.6	1.6	2.7	2.8	2.6	2.0	4.0	4.0	4.6	4.2
平成22年度	0.6	1.4	2.0	2.2	2.5	3.1	2.0	3.4	3.7	4.5	3.9
平成23年度	0.4	1.4	1.4	2.2	2.7	2.8	1.9	2.4	3.2	3.0	2.8

(注：平成8年度から基準変更)

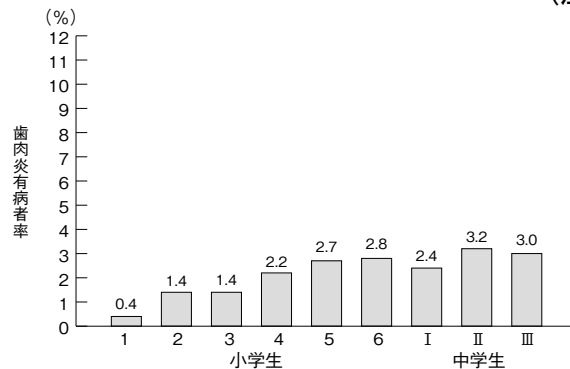


図11 児童生徒の歯肉炎有病者率 (平成23年度)

4. 児童・生徒の不正咬合の状況

表12 児童生徒の不正咬合の有所見者率の推移 (%)

年 度	小 学 校							中 学 校			
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全学年	1年生	2年生	3年生	全学年
平成5年度	0.9	1.5	1.2	1.3	1.5	1.6	1.3	2.0	1.8	1.3	1.7
平成6年度	1.2	1.3	2.5	1.5	1.5	1.9	1.6	2.8	2.3	1.7	2.3
平成7年度	1.4	1.3	1.0	1.4	1.3	1.6	1.4	3.0	2.6	2.7	2.8
平成8年度	2.5	4.8	3.6	4.1	3.9	4.2	3.9	5.9	5.1	4.5	5.2
平成9年度	2.4	3.2	3.9	3.8	3.5	4.2	3.5	4.2	4.5	3.8	4.2
平成10年度	1.9	3.0	3.8	3.1	3.1	3.6	3.1	4.2	3.7	4.3	4.1
平成11年度	1.9	3.4	2.7	3.6	3.4	3.6	3.1	3.3	3.6	3.9	3.6
平成12年度	1.9	2.9	3.1	3.7	3.1	3.1	3.0	3.0	3.6	2.5	3.0
平成13年度	2.4	2.9	2.6	2.8	3.8	2.9	2.9	3.4	3.2	2.8	3.1
平成14年度	2.1	2.6	2.6	2.7	2.5	2.8	2.6	3.0	3.5	2.9	3.1
平成15年度	2.0	2.1	2.9	2.5	3.2	1.9	2.4	3.4	3.4	3.0	3.2
平成16年度	1.3	2.0	1.9	2.0	2.1	1.9	1.9	3.1	3.0	3.6	3.2
平成17年度	1.7	2.3	2.8	2.8	3.0	2.7	2.6	2.4	3.7	3.9	3.3
平成18年度	1.5	3.1	3.3	3.0	3.2	3.5	2.9	3.3	3.3	3.4	3.3
平成19年度	1.9	2.2	3.0	2.6	2.4	2.7	2.5	3.8	3.6	3.3	3.6
平成20年度	1.5	2.2	2.2	2.4	2.2	2.0	2.1	3.3	4.0	3.4	3.6
平成21年度	1.5	1.8	2.6	2.1	2.5	2.0	2.1	2.9	3.3	3.4	3.2
平成22年度	1.3	1.7	1.7	2.2	2.1	1.8	1.8	2.8	3.4	3.4	3.2
平成23年度	1.3	1.8	1.7	1.6	2.0	1.8	1.7	2.7	2.9	2.5	2.7

(注：平成8年度から基準変更)

5. 成人の歯科疾患の状況

(1) 妊婦の歯科疾患の状況

表13 妊婦の歯科疾患の推移（妊婦歯科健診）

年 度	むし歯有病者率 (%)	一人平均むし歯数 (本)	歯周疾患有病者率 (%)	備 考
平成5年度	99.7	13.69	36.0	平成7年度から CPI法コード3以上
平成6年度	99.7	13.87	40.0	
平成7年度	99.7	14.02	42.6	
平成8年度	99.6	13.56	25.2	
平成9年度	99.7	13.03	14.3	
平成10年度	99.5	12.68	16.4	
平成11年度	99.4	12.43	15.4	
平成12年度	99.5	12.66	23.9	
平成13年度	99.3	11.70	19.8	
平成14年度	98.9	11.36	12.0	
平成15年度	99.0	11.09	9.7	
平成16年度	98.6	10.97	14.0	
平成17年度	97.9	11.02	15.9	
平成18年度	97.4	10.52	12.3	
平成19年度	96.9	10.32	11.7	
平成20年度	96.5	9.63	13.1	
平成21年度	96.7	9.61	13.5	
平成22年度	95.4	8.95	11.7	
平成23年度	94.6	8.69	11.1	

(2) 成人歯科健診の受診状況

表14 成人歯科健診受診者数の推移

年 度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	判 定 区 分			要精検・要医療の内容				
				異常なし (人)	要指導 (人)	要精検・ 要医療(人)	歯石除去 (人)	歯周治療 (人)	むし歯治療 (人)	補綴処置 (人)	その他 (人)
平成14年度	14,008	830	5.9	54	50	726	546	432	410	74	46
平成15年度	13,723	764	5.6	37	33	694	507	404	358	57	140
平成16年度	13,932	813	5.8	53	38	722	548	426	390	58	93
平成17年度	36,630	2,185	6.0	139	81	1,965	1,294	1,289	1,042	361	1,030
平成18年度	40,669	2,373	5.8	111	97	2,165	1,326	1,403	1,035	366	730
平成19年度	45,235	2,510	5.5	116	124	2,270	1,038	1,411	1,026	203	752
平成20年度	44,143	2,466	5.6	137	115	2,214	1,067	1,332	873	173	828
平成21年度	44,572	2,350	5.3	113	125	2,112	1,032	1,254	840	109	782
平成22年度	43,348	2,265	5.2	114	107	2,044	1,399	1,357	964	168	285
平成23年度	43,921	2,463	5.6	81	114	2,268	1,578	1,416	975	172	668

※平成14年6月より事業開始（対象年齢40，50歳）

※平成17年4月より対象年齢拡大（対象年齢40，50，60，70歳）

6. 障がい者要介護者歯科保健事業受診状況

表15 訪問歯科健診・診療事業受診者数の推移

年 度	訪問依頼者数	訪問(患者)実数	治療修了者数	延べ訪問回数	歯科健診回数	訪問依頼者数内訳						
						～39	40代	50代	60代	70代	80代	90～
平成5年度	103	110	103	485	—	0	2	7	21	40	23	10
平成6年度	132	130	121	681	—	0	4	10	27	43	40	8
平成7年度	129	121	114	647	—	3	1	7	22	39	46	11
平成8年度	163	170	152	863	—	1	2	6	25	61	54	14
平成9年度	169	177	167	712	198	0	5	6	28	48	70	12
平成10年度	267	267	233	1,207	300	3	4	9	49	91	90	21
平成11年度	246	267	233	1,336	286	1	3	13	29	93	79	28
平成12年度	247	265	229	1,433	277	3	4	5	35	88	88	24
平成13年度	307	334	296	1,745	349	5	4	7	40	113	107	31
平成14年度	265	289	251	1,311	293	4	6	7	21	91	105	31
平成15年度	280	301	268	1,504	281	5	5	5	19	95	116	35
平成16年度	239	260	258	—	230	6	4	5	22	65	91	46
平成17年度	336	329	—	—	319	7	2	5	31	91	128	55
平成18年度	300	—	—	—	272	3	2	9	29	73	97	59
平成19年度	236	—	—	—	240	2	1	6	25	80	87	35
平成20年度	249	—	—	—	241	5	4	5	24	61	111	39
平成21年度	192	—	—	—	182	2	1	5	22	76	65	21
平成22年度	192	—	—	—	181	3	0	4	22	43	83	37
平成23年度	203	—	—	—	201	5	4	4	19	54	81	36

※平成4～8年度は「在宅寝たきり者訪問歯科診療事業」として、平成9年度より「在宅寝たきり者訪問歯科健診・診療事業」として実施

表16 訪問口腔衛生指導受診者数の推移

年 度	被訪問人員		口腔衛生自立度（初回訪問時）											摂食嚥下障害あり	
	実人数	延べ人数	歯 磨 き				う が い				義 歯 清 掃				
			自 立	一 部 介 助	全 介 助	不 明 等	自 立	水 を 含 む	水 を 含 め ない	不 明 等	自 立	介 助	し ない		そ の 他
平成10年度	110	178	56	10	31	13	77	12	12	9	33	15	17	45	6
平成11年度	125	270	62	11	39	13	95	16	11	3	37	35	13	40	18
平成12年度	27	51	20	2	4	1	23	1	3	0	14	4	1	0	1
平成13年度	21	41	13	1	3	1	18	1	2	0	11	0	0	0	2
平成14年度	17	31	10	2	5	0	13	2	1	0	6	2	2	0	1
平成15年度	6	10	2	1	1	2	4	0	1	1	1	1	1	0	1
平成16年度	13	23	7	3	3	0	10	3	0	0	4	0	1	0	1
平成17年度	11	18	9	1	1	0	10	0	1	0	6	2	0	0	0
平成18年度	6	10	2	0	2	2	3	0	1	2	0	1	0	0	0
平成19年度	2	4	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0
平成20年度	3	5	2	0	1	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0
平成21年度	4	7	3	0	1	0	3	0	1	0	1	0	0	1	0
平成22年度	3	6	2	0	1	0	2	1	0	0	1	0	1	1	0
平成23年度	3	5	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0

(注：平成10年度より開始)